

読者コーナー「ホッとtime」

「読者コーナー・ホッとtime」は、皆さんが大事にしている“座右の銘”（常に自分の心に留めておいて、戒めや励ましとする言葉）や、是非とも他のの方にも紹介したい“おすすめの〇〇”を、読者の皆さんから応募していただくコーナーです。読みながら、ホッとした時間をお過ごしいただければと思います♪♪♪

私の座右の銘

「C'est la vie !」

悲しい時や途方に暮れるようなことが起きた時、私はこのフランス語のフレーズを思い出します。「これぞ人生！」この言葉によって、ありのままを受け入れ、一歩前に進むための勇気を貰えるような気がするからです。

ある日、大雨にふられ「傘もってたらよかった…びしよびしよだし…」と、後悔の念がなかなかやまないことがあります。そのような時も、「この言葉を心につぶやいてみます。すると「まあ、仕方ないか」と思えて、ふと紫陽花が、きれいに咲いていることに気づいたりするのです。

この言葉は「なんて素晴らしい人生なんだろう！」というニュアンスも持ちます。この魔法の言葉によって、さやかなしあわせが、何倍にもふくらむように思います。「la vie」は「人生」のほかに、「いのち」を意味しています。与えていただいた、「の」「いのち」「ひとり」の力だけではたどり着くことの出来なかったこの人生—どのような時も、感謝の心を胸に、歩んでいきたいです。

(公財)全国青少年教化協会

増田浩子

◆おすすめの映画◆

日差しが強い日には、クーラーの効いた部屋でポップコーンを片手に映画を観られている人も多い事だと思えます。そこで、今回私がおすすめするのは映画です。みなさんは「ファーザー」という映画をご存じでしょうか。この映画は2021年のアカデミー賞で主演男優賞と脚本賞を受賞しているのを知っている人も多いと思います。映画の内容は、認知症の本人の目線と周りの人の目線を駆使して認知症の実態を浮き彫りにしているというものです。国民の三人に一人が認知症になると言われている我が国では、認知症は誰しもに關係してくる病気と言っても過言ではありません。ですが、認知症の人の頭の中でどのような事が起こっているかを理解するのは大変な作業です。この映画では今まで描かれてこなかった認知症側の目線が描かれているので、感覚的に理解がしやすいと思えます。身近な人に認知症の人が居る人は理解が進みますし、まだ周りにはいない人も予習をしておいて損は無いと思えます。新感覚の映画体験を是非！

(おかし屋ばれっと 井上ムハンマド)

- 「読者コーナー・ホッとtime」では、“私の座右の銘”や“おすすめの〇〇”を、読者の皆さんから募集しています。なぜその言葉を選んだのか、どんなところをおススメしたいのか、200文字程度で書いてどしどし応募して下さいね。
- 応募は、FAX(03-6821-4978)または palette@npo-palette.or.jp まで。(編集部)